

再資源化レアアース販売

県、来月から回収蛍光灯から精製

使用済みの蛍光灯からレアアース(希土類)を回収、再資源化する共同事業に、九州大や三井金属鉱業(東京)などと取り組む県は29日、再資源化したレアアースが4月から販売されると発表した。県は、2013年度の販売量を1・6兆円(480万円相当)と見込んでいる。

蛍光灯の内部に塗られた蛍光粉には、イットリウムやランタンといったレアアース5種類が含まれている。11年9月から、5種類のうち含有量の多いイットリウムの再資源化に取りかかった。九州や中国、四国地方の家庭や企業などから回収した蛍光灯から、廃棄物回収処理業「ジェイ・リライツ」(北九州市)が蛍光粉を取り出し、化学会社「日本イットリウム」(大牟田市)で分離、精製。今年3月までに作業が終わり、再資源化されたイットリウムの販売先も確保された。

県によると、蛍光灯に使われているレアアースのリサイクルを事業化するのは全国で初めて。県の担当者は「レアアースの安

定確保につながる」と話している。